

J AIPA

Express

Vol.52

October 2019

CONTENTS

ご挨拶

レポート

第51回ISP & クラウド事業者の集い in 佐賀

沖縄 ICT フォーラム 2019 in 与那国

ウラジオストック訪問記

部会報告

事務局通信

会員紹介

行事一覧

役員一覧

会員一覧

全国プロバイダー一覧

People,people

皆さまこんにちは。アットアイの横田でございます。

この度、冒頭ページのご挨拶をとのお話しをいただきました。振り返ってみると私自身が通信業界に関わり始めてからお蔭様で丁度30年である事に気づき良い機会だと思いましたので自己紹介も兼ね30年を振り返りながらのご挨拶とさせていただきます。

30年前(1989年)、社会人1年目だった私は広島市内の電力系の情報システム会社の社員として、出向先の携帯電話会社でお世話になっておりました。正にこの年は、開業に向けた怒涛のシステム開発が行われており社内の多くの方が昼夜も気にせず働いている状況でした。当時の私の仕事はオフコンとWS端末をTCP/IPで接続するシステムや、PCと携帯電話をシリアル接続し携帯電話にデータを書き込むシステムの開発などを担当しておりました。携帯電話会社におりましたが何故かレガシーな固定通信ばかりを担当していたように思います。その後、結婚を機に「田舎で子育てしたい!」との想いから出身の鳥根県益田市にUターンする事を決めました。

益田市に戻ってからは、地元のシステム開発会社でお世話になり、1996年のISP事業の立ち上げからガッツリと関わらせていただきました(有難うございました!)。2000年にはインターネットの常時接続が可能となるフレッツISDNが始まりましたが拠点のある益田市は鳥根県の西の端、POIのある東の端の松江市までは141km…。鳥根内でフレッツ接続サービスを提供するにも141kmの専用線料金を支払う必要があり、事業としては大変苦勞致しました(因みに、隣県の広島、山口のPOIまでは共に80km程度)。これをきっかけに、地域の通信環境や料金について、事あるごとに考えるようになりました。

翌年の2001年には待望のフレッツADSLが登場しましたが、鳥根県内は提供エリア外の地域が多くあり、地元では不満の声も聞こえておりました。そんな折、自治体様からブロードバンド未整備地域解消に向けたネットワーク整備事業のお話しを頂き、2002年にはフレッツに頼らない自前のxDSLや無線インターネットのサービスを始める事となりました。

複数エリアで自前のブロードバンドサービスを展開すると決めてから、先ず悩んだのは提供料金でした。局舎毎の収容回線数の差もあり、山間地と町では1回線あたりの提供コストが大きく異なります。社内でも色々意見ももらい「こっちは高い、あそこは安い」というよう話しが出ると、住民どうしの関係もプラスには作用しないだろう、という話しから”どの地区も同一料金”で提供する事としました。その後は“望めば誰でも使える”ようにと、日本一安いブロードバンドサービス(速度制限有り1,400円/月)の提供も始めました。こちらのサービスの反応も非常に良く、地域のインターネット利用に大きく貢献できたように思います。

また、忘れられない事故もございました。大雨が続いたある日、ダム沿いにあったNTT電柱が崖崩れと共にダムに落ち中継回線が断線し、ある地区で提供していたxDSLのサービスが完全に停止する事態となりました。(殆どの地区は冗長経路を持っていたのですが、この地区については冗長コストが非常に高く非対応でした)。道路状況などからも中継回線の復旧には長期間かかるだろうと考え、モバイル回線を数本束ねる形でインターネットのバックボーン回線とし凌ぐ事としました。しかし十分な帯域では無いため、全戸の回線速度を128kbsに制限し、お客様には「出来るだけメールのみの利用を」とお願いさせていただきました。結局、本格復旧までは約2週間もかかりましたが、その間に大きなクレームもなく、お客様から伺ったのは、普段利用できている事への感謝の言葉(有難い!)と、「大雨や大雪が降れば道は封鎖される。不便な時もあるが自分たちは承知で住んでいる」というお話しでした。

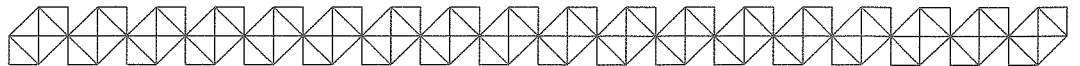
事業者としては「綺麗に冗長化できないならサービスは提供したくない」という心理は働くとおもいます。しかし地域の方が求められておられたのは、何よりも先ず〈普段、使える〉事でした。勿論、サービスの停止などの事故が無い事がベストですが、私自身は、先ず“使える状況を作る”という事を強く意識しつつ、これからも現実解を探り続けたいと考えています。

その後、独立しまして株式会社アットアイを設立し、離島や中山間地域でも漏れなくブロードバンドのサービスが提供されるよう、また出来るだけ地域による価格差が生じないよう、地方のCATVやISPのご支援をさせていただくようになりました。道路、電気、水道、ガス、それぞれ提供されている地域であっても、光回線などの固定回線で通信できない世帯は今もなお200万戸ほど残っているように思います。

今年は「基盤整備等の在り方検討WG」で、“ブロードバンドサービスを基礎的電気通信役務として考える”議論があり、今が正にチャンスだと思います。詳細はさておいて“誰もが『望めば使える』”というブロードバンド環境をJAIPAの皆で強く願い、事あるごとにお声をあげていただけませんか。どうぞ宜しくお願い致します。

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
常任理事 横田 洋人
(株式会社アットアイ)





第51回ISP & クラウド事業者の集いin佐賀 開催報告書

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2019/04/ispin-3.php>

日にち：2019年5月16日（木）～17日（金）

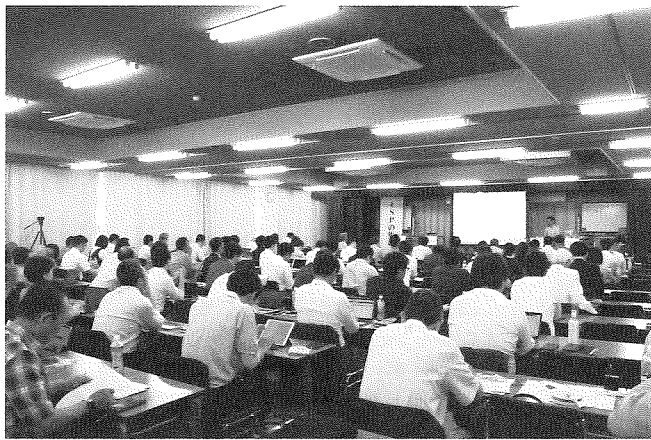
場所：佐賀県教育会館 大会議室

〒849-0916 佐賀市高木瀬町東高木227番地1

TEL 0952-31-7131 FAX 0952-31-7132

<http://www.saga-ed-center.jp/access/access.html>

参加者：124名



プログラム：

■5月16日（木）

13:00- 受付開始

13:30-13:35 開会挨拶

地域ISP部会 部会長 晋山孝善

13:35-14:20 QUNOG13.5 ～佐賀自慢～

ひなたコミュニケーションズ 芝村正志氏

大電株式会社 徳淵甚也氏

株式会社QTnet 西田 圭氏

14:20-15:05 もう一人で困らない！マネージドセキュリティサービスの活用法

NTTテクノクロス株式会社

／日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)

NTTグループセキュリティプリンシパル

／副代表、セキュリティオペレーション連携WGリーダー 武井滋紀氏

15:05-15:20 休憩

15:20-15:50 「モバイル部会の海外調査報告@台湾」

JAIPAモバイル部会 竹内勝幸氏（株式会社シナプス）

15:50-16:50 「接続料の算定に関する研究会と現在の状況」

総務省総合通信基盤局 電気通信事業部 料金サービス課 課長補佐 大磯 一氏

16:50-17:00 休憩

17:00-18:30 パネルディスカッション：

フレッツに頼る生き方、頼らない生き方 ～最新の動向を識者に訊く

モデレータ：JAIPA名誉会員 古関義幸氏

パネリスト：シナプス 竹内勝幸氏

QTnet 西田 圭氏

ジェットインターネット 晋山孝善氏

19:00-21:00 懇親会 ホテルマリタール創世 佐賀

■5月17日（金）

9:30- 受付開始

10:00-10:30 ネットワーク中立性とは

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部

データ通信課長 山路栄作氏

10:30-12:00 パネルディスカッション：中立性とう向き合うか

パネリスト：総務省 データ通信課長 山路栄作氏

JAIPA 立石聡明副会長

中央大学 実積寿也氏

モデレータ：BBIX株式会社 福智道一氏



12:00-13:30 昼食休憩

13:30-14:00

・CloudConference2019告知

CloudConference2019実行委員長 吉村真輝氏

・JAIPA新規入会企業紹介

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

14:00-14:45 電気通信番号関係の制度改正について

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部

電気通信技術システム課 番号企画室

課長補佐 梅城崇師氏

14:45-15:25 第5世代移動通信システム (5G) の今と将来展望

総務省 総合通信基盤局 電波部
移動通信課 企画官 片桐広逸氏

15:25-15:35 休憩

15:35-16:05 IPアドレスを取り巻く状況について

株式会社Geolocation Technology 風間勇人氏

16:05-16:35 IPoE利用者による光コラボ「事業者変更」時の注意点

NGN IPoE協議会 石田慶樹氏 梶原直人氏

16:35-17:05 最近のIPv4アドレスの分配・ASの分配そしてWHOIS登録

JPOPF運営チーム 鶴巻 悟氏

17:05-17:15 休憩

17:15-18:10 若者から見たIT企業と受け入れる管理職の意見

モデレータ：QTnet 西田 圭氏

パネリスト：QTnet 梶原沙恵氏

BBIX株式会社 安部博文氏 鈴木里奈氏

18:30-20:30 懇親会 千代



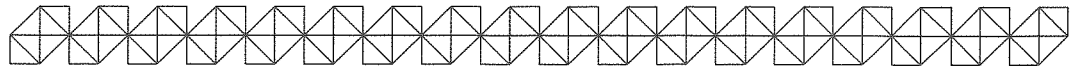
概要：51回目の集いは「佐賀」です。準備の段階で希望の日程と会場の空きがなかなかうまく合致しなく、佐賀市、伊万里、唐津と複数の会場をあたり、やっと佐賀市に決まりました。今回はQTnetの西田さんに懇親会会場、プログラムと大変ご尽力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。プログラムも他団体であるQUNOGの活動やセキュリティ関係、IPアドレス関係と多岐にわたりました。当協会の活動の軸である部会（今回はモバイル部会）から海外調査@台湾の調査報告もさせていただきました。長く続いている総務省主催の「接続料の算定に関する研究会」については、集いin京都に引き続き料金サービス課大磯課長補佐にご説明いただきました。まだまだ続く案

件ですが、一区切り毎に詳しく説明いただき協会内の担当者がフォローしきれない部分をいつもカバーしていただいています。2日目は、いつもよくわからない、わかりにくいと言われる「中立性」の話をデータ通信課長山路さんに解説いただき、そのあとJAIPA立石副会長、中央大学 実積先生を迎え、BBIX福智氏によるモデレータで活発な意見交換をしていただきました。そして二日間ともパネルディスカッションがあったのですが、1日目最後「フレッツに頼る生き方、頼らない生き方 ～最新の動向を識者に訊く」として、なかなか語りにくいISPの気持ちをモデレータのJAIPA名誉会員古関氏がうまく聞き出し、会場を巻き込んでのディスカッションが出来ました。遅れて会場にいらしたISPの社長さんを指名するなど、笑いあり、涙はあったかどうかはわかりませんがとても盛り上がったパネルディスカッションとなりました。もう一つのパネルディスカッション（2日目）が「若者から見たIT企業と受け入れる管理職の意見」です。常日頃、当協会のみならず業界の若返りを図りたいと口々に言われていることですが、このパネルではQTnet、BBIXの上司と部下が登壇して、それぞれ率直な意見が出てきて、会場内が大いに盛り上がりました。働きやすい環境がこの2社にはあるのだと思いました。

さて、あまり内容に触れていない報告で申し訳ないですが、集いin佐賀開催を無事に終えたところで、この佐賀の集いはプログラムから懇親会会場、二次会場と下見まで行って準備していただいたのがイブリオの石田卓也氏です。残念ながら佐賀の懇親会会場下見から戻ってまもなく4月22日にお亡くなりになりました。石田氏には今までも集い開催に多大なご尽力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。(M)



※公開資料については、Webサイトにリンクが張っております。ご覧ください。



沖縄ICTフォーラム2019in与那国 開催報告書

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2019/07/ict2019in.php>

日時：2019年7月11日（木）～12日（金）
7月10日（水）石垣島にて恒例のセキララ会開催
場所：久部良多目的集会施設
〒907-1801
沖縄県八重山郡与那国町字与那国4022-223
主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）
共催：インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会
参加資格：JAIPA会員限定
費用：参加費：無料 懇親会費：有料（4,000円程度）
参加者：11日（木）73名、12日（金）71名 総計 75名
（セキララ会40名）



プログラム：

■7月10日（水）

・15:00～第一部：〇〇笑百科?! ABUSE対策ま〜るく
治めます!

インターネットを利用するサービスの不正利用（ABUSE案件）対応業務に携わる各界の担当者が、最新の「現場で起きていること」を紹介しつつ、対応上の課題や対策の是非について法的識者も参加し解説を加えます。いまさら聞けないabuse対策のイロハが学べますよ……

パネリスト（氏名は当日発表・当日限り）

ISPのabuse対策担当、ISPの法務担当、警察関係者、弁護士

・16:10～第二部：特殊詐欺の実態と対策、MVNOを巻き込んだ秘策とは

偽造した身分証によるMVNOの不正申し込み対策は、こ

のセキララ会で情報共有しISP各社の対策に繋がったとの評価を得ています。またISPの問題意識が伝わり、警察庁の本腰を入れた取り組みも動き出しました。今回は一步踏み込んでオレオレ詐欺などの特殊詐欺の実態報告と、本邦初公開、警察庁からの本格対策について特別講演をお願いしています。

パネリスト（氏名は当日発表・当日限り）

・17:20～第三部：海賊版サイトブロッキング問題その2

大山鳴動した海賊版サイトブロッキング問題は、ダウンロード違法化や、アクセス警告方式など様々な議論が行われ現在に至っている。強硬な著作権側の意見とISPや法律家が真っ向から対立したままで、果たして国民の理解が得られるゴールに到達できるのか、刃を鞘に納め落ち着いた議論を関係者でやる場を持ちたい、本当に関係者が同じテーブルについてくれるのか、石垣島の夜が熱い!

パネリスト（氏名は当日発表・当日限り）

著作権団体関係者、ISP関係者、弁護士、報道関係者

■7月11日（木）

14:00- 受付開始

14:30-14:35 開会挨拶 JAIPA会長 会田容弘

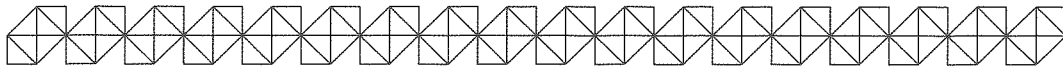
14:35-14:45 来賓挨拶 与那国町 副町長 金城信浩氏



14:45-15:45 与那国遠隔教育について

与那国町教育委員会 教育課長 磯部大輔氏
株式会社フィオレ・コネクション
代表取締役 松川来仁氏

15:45-16:10 ゲーム等が繋がらない"課題を検討する横断WGの立ち上げについて



松本昇氏 (株式会社シーエスファーム)

丹羽健吾氏 (株式会社NTTぷらら)

日発表!)

モデレータ: プログラム委員 小山 寛氏

16:10-16:20 休憩

12:15-13:20 お昼休憩

16:20-18:20 これからどうするIoT

12:40-12:50 クラウドカンファレンスへのご招待

NTTドコモ株式会社 法人ビジネス本部

NTTコミュニケーションズ 左部真也氏

IoTビジネス部 田辺 守氏

NTTビズリンク株式会社 中村哲雄氏

KDDI株式会社 ビジネスIoT推進本部

12:50-13:00 安全・安心マーク推進協議会

ビジネスIoT営業推進部

13:20-13:50 今日のIT環境のセキュリティ対策

開発2グループ 高田和典氏

~AIベンチャーのCSO実務のご紹介~

ソフトバンク株式会社

Preferred Networks 執行役員

IoT事業推進本部 竹岡航司氏

最高セキュリティ責任者 高橋正和氏

パネルディスカッション・質疑

13:50-15:40 Blockingとダウンロードの違法化

19:00-21:00 懇親会

・海賊版サイト対策に関わる取材をして思うこと

若江雅子氏 (読売新聞 編集局 編集委員)

~昨日のやりとりをご紹介~

・海賊版サイト対策会議はなぜ紛糾したか

森亮二氏 (英知法律事務所 弁護士)

・海賊版サイト対策について思うこと

田中邦裕氏 (さくらインターネット株式会社 代表取締役社長)

・ディスカッション

15:40-15:50 休憩

15:50-17:35 5Gの本当のところ

エリクソン・ジャパンCTO 藤岡雅宣氏

NTTドコモ株式会社 5G事業推進室

伊藤孝史氏

KDDI株式会社 技術統括本部

モバイル技術本部

次世代ネットワーク開発部 北島 孝氏

ソフトバンク株式会社 先端技術開発本部

先端事業企画部 山田大輔氏

パネルディスカッション・質疑



■7月12日 (金)

9:00- 受付開始

9:30-10:10 特別講演

総務省のサイバーセキュリティ政策について

NOTICE関連

総務省サイバーセキュリティ統括官

竹内芳明氏

10:10-10:30 IoTセキュリティ対策最前線

IIJセキュリティ本部 本部長 齋藤衛氏

10:30-10:35 休憩 (パネル準備)

10:35-11:15 特殊詐欺の実態と対策、プロバイダに出来ること

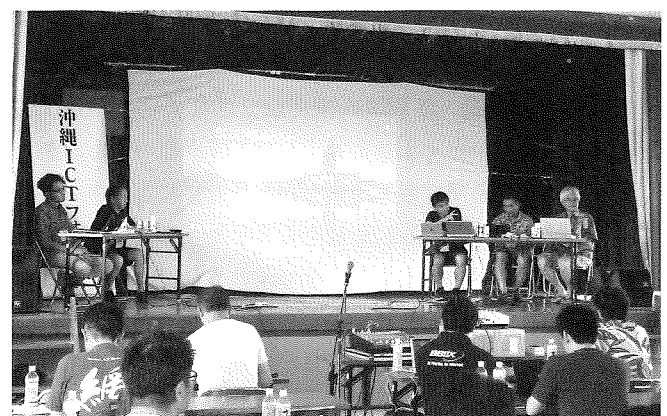
基調講演NTTコミュニケーションズ

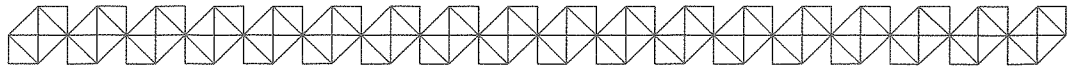
土沼恒之氏

11:15-12:15 特殊詐欺の実態と対策、プロバイダに出来ること

パネルディスカッション

パネリスト: 警察庁・プロバイダ関係者(当





17:35-17:40 閉会挨拶 沖縄ICTフォーラム実行委員長
小林洋子氏

17:40-18:10 片付け (机・椅子等)

19:00-21:00 懇親会

概要：

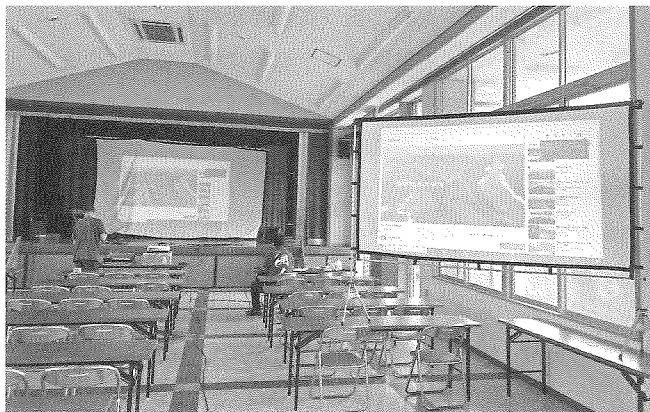
今年も「セキララ会 (招待制) ※1」が前日に石垣島にて行われました。7月10日 (水) 15:00~終了後懇親会 (19:00~) 40名の参加でした。

場所：石垣市民会館

<https://www.jaipa.or.jp/invitation/ict2019in.php>

Abuse対策、特殊詐欺、海賊版サイトブロッキング問題と現在問題になっていることを現場で対応している方々の生々しい言葉で語っていただいています。その一部話せることを翌日の与那国で話していただきました。

今回は以前から皆さんのリクエストが多かった与那国での開催となりました。事前調査で会場が小さく80名が精一杯。

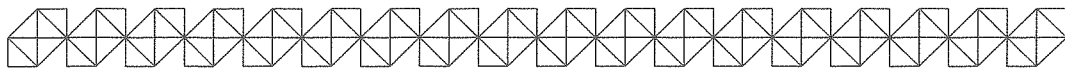


交通の便については、本数が少ないのと機体が小さいため人数運べない。さらにタクシーは島に1台のみ、生活路線バスはあるものの本数もあまりなく、ちょっとそこまでという移動手段がない。このように下見に行った時点で課題が多かったのですが、散々悩んだあげく開催を決定したのは【鶴の一声】だったのでしょうか。十数年沖縄でイベントをしてきて、当初人数も少なかったこともありましたが、ここ数年150名超えの参加者となっており、与那国上陸は大人数は無理という判断で会員限定・さらに人数制限をさせていただきました。参加申込みが多く1社1名にしぼり、多数の方をお断りしました。参加希望で参加出来なかった皆様には大変申し訳ございませんでした。もしかしたら3年後与那国役場が新築され大きな会場が確保出来るようですので、また与那国開催があるかもしれません。結果として参加人数は75名となり、移動には貸切バスを手配し、昼食は安全・安心マーク推進協

議会の共催としてランチミーティングといったように、コンパクト、そして移動しやすいように工夫したつもりです。その効果かどうか、いつも2日目の朝はバラバラと集合時間に間に合わない方々もいらっしゃいましたが、今回は、時間を繰り上げて開始することが出来るくらい余裕の集合でした。非常にまとまった少人数ならではの会になりました。

そして、今年のプログラムは地元ネタとして、「与那国の遠隔教育について」地元の教育委員会の方が取組を紹介してください、遠隔 (東京) から実際に行っている方のお話しをお伺いしました。画面越しでも活発なやりとりをしている子ども達を見て、時代だなと感じました。事業者が常日頃感心を持っている、IoTや5Gについてもキャリア3社の担当の方に来ていただき、すこし踏み込んだお話しをしていただきました。「特殊詐欺」や「ブロッキングとダウンロードの違法化」については、前日 (セキララ会) に行った内容で話せることを集約して紹介、特に特殊詐欺関係は当初からの流れも説明いただいたので現状での問題点も見えて来てとても勉強になりました。後日モバイル部会でも土沼講師に来ていただき再度勉強会をして「特殊詐欺犯罪の撲滅に向けて」という協会声明を出すことが出来ました。非常に充実したプログラムが多数あり、参加された方々からもセミナーの内容も充実して、移動もスムーズに出来て良かったと感想がありました。初めて沖縄ICTフォーラムに参加した講師の方は、「素晴らしい濃密な内容を議論されており、感激し、また私自身の勉強になりました。」と頂戴し、今後も会社として参加出来るように社内に展開して下さるそうです。そういうお話しをいただくと開催して良かったと思います。さらによりよいイベントが出来るようプログラム委員一同頑張りたいと思います。次回もぜひご参加いただければ幸いです。参加されて、沖縄で開催する意義を感じていただければと思います。(M)





ウラジオストク訪問記

副会長兼専務理事
立石聡明

「ウラジオストク」と聞くと、中学生の頃だったか、気象通報を聞きながら気温、風速及び風向等を記していたことを思い出します。インターネットもビデオもなかった頃、気象図を見るには新聞を見るかテレビで天気予報の時間を待つしかありませんでした。今や手元のスマホでいつでも気象図や予報図を見ることが出来るようになり、気象通報を聞くことすらなくなってしまいました。

その頃の印象では、日本海に面しているとはいえ、すごく遠い土地のように思っていました。ところが、実際には成田空港からは飛行時間1時間半で到着します。東京からであれば札幌と余り変わらず、沖縄と比べると遙かに近いヨーロッパです。そもそもAPrIGFはアジア太平洋地域のIGF (Internet Governance Forum) なのに、どうしてロシアでやるのかという人もいましたが、APrIGFに毎回参加しておられるロシアの方がいることもあり、強硬な反対意見もなくウラジオストクでの開催となりました。

ウラジオストクはロシアですから、面倒なビザの申請が必要だと思っておられる方が多いと思いますが、数年前にウラジオストクはロシアの自由貿易港に指定されたので、ウラジオストクから外に出ないのであれば、Web申請でもらえる簡易ビザで入国できます。今春、別件でキルギスへ行ったのですが、その際モスクワ経由でした。モスクワには大きな空港が3つあり、国際・国内線が同一空港であればビザは

不要なのですが、たまたま空港が別だったために、一旦ロシアに入国しなければならず、そのためにトランジットビザを取ったことを考えるとずいぶんと便利です。

ウラジオストクは「ヨーロッパ」だけあって、町並みはヨーロッパです。また、歩く人々もロシア人が多く、あまりアジアだという感じのしない町並みです。ただ、今は韓国からの旅行者が多く、入国審査でも街中でも団体旅行で来ている韓国人が目にとまりました。

訪れたのは7月中旬でしたら、猛暑の日本に比べると当然のことながら涼しく、汗が止まらないような気温ではありませんでした。ただ、雨が降らなくとも霧がかかる時間帯が多く、日本とはずいぶん違う気候です。

今回のAPrIGFの会場は、Far Eastern Federal University (極東連邦大学) でした。元は帝政ロシア時代に「東洋学院」として作られた古い大学のようなのですが、その後何度とな

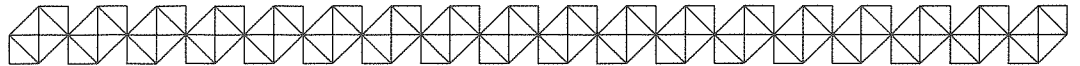


会場となった極東連邦大学



ヨーロッパの雰囲気が漂う街並み

く改編されたり閉鎖されたこともあったようですが、フルシチョフが再開し、2012年のロシアAPECの施設としてルースキー島に作られた施設をそのまま流用して、現在の広大なキャンパスとなったようです。学生も世界中から集まってきているようですし、キャンパス内を少し探索して回った際には社会人向けのコースもあるようで、年配の方々が教室で授業を聞いている風景も目にしました。ただ、このルースキー島という島はウラジオストクの中心部から自動車ですら20~30分程度の場所にあり、夜は周りに何も無く、大学に併設されたレストランや宿泊施設があるぐらいで、ダウンタウンへの移動には非常に苦労しました。UberそのものはないのですがUberと同じようなシステムが2種類存在し、そのどちらか



でタクシーを呼ばなければ市内へは移動できない場所でした。

そのような中で開催されたAPrIGFですが、今年で10年目を迎え、内容的にも充実してきたように思われます。アジアならではの話題から、国際的な話題に至るまで多くのセッションが開催されました。

特にアジアの国々では、「表現の自由」や「通信の秘密」が日本ほど厳しく守られている国はなく、人権関連のNGOが自国での苦勞を語っている場面は相変わらずでした。そして、それだけOpen Internetつまり「インターネットの自由」を制限しているにも関わらず、日本と同じように子供のいじめや、違法有害情報は同じような課題になっており、どの国も対策に頭を悩ませているのです。つまり、昨年の「海賊版サイト対策」でも散々討論された「ブロッキング」をしたところで、問題の根本的な解決にはならないと言うことの証左でもあります。



オープニングの様子

“Coping with misinformation in an era of information deluge: Who is Responsible?”というセッションでは、Fake NewsにとどまらずGAFaをはじめとしたプラットフォームの脅威にどう対応すべきか、ということについて討論が交わされ、アジア人共通の課題であることを認識させられました。

また、サイトブロッキング（インターネット・シャットダウン）に関する話題では、昨年大騒ぎになった、海賊版サイト対策について日本の状況を説明しました。多くの国では「インターネット シャットダウン」が繰り返されているため、一部のサイトに対するブロッキングなど、たいした事はないと思われるのではないかと考えていましたが、結果はむしろ逆でした。「権力者は常に“蟻の一穴”を狙っている。その小さな穴が空かないように注意深くしていなければ、気がついたときには止めきれないぐらい大きな洪水になるよ。」と

今の日本の環境を守るべく努力するよう激励されました。

その他のセッションや休憩時間、あるいは懇親会を通して各国のIGF関係者と有意義な情報交換をすることが出来ました。特に台湾等における政府とのやりとりなど、細かな情報交換を行うことが出来、今後の相互関係の向上や日本国内での議論に関しても各国の現場の状況を把握できたことは収穫でした。

ただ、この会議中気になったことがありました。それは、「ブロッキング」、「フィルタリング」、「オーバーブロック」あるいは「シャットダウン」という言葉の定義が曖昧なことです。日本国内でもこれらの言葉を正確に使っている人が少ないのですが…大きな違いはないにしても、各国での法的背景や慣習の違いが認識されないまま議論されているのではないかと思うことが多々ありました。例えば、「オーバーブロック」。一般的に日本では、DNSブロックによって見えなくなってしまう同一サーバ内のWebページをこといいますが、韓国では、ある指定されたカテゴリーに分類されることで見なくなるサイトを指すようです。よって見えなくなる規模が全く違います。ですので、少なくともまずはアジア太平洋地域内だけでも、この辺の定義を関係者で調整して定義を作る、あるいは各国ごとにマトリックスのようなモノを作成するなどの作業が必要ではないかと思えます。

また、日本のIGFでもよく話になるのが、この「IGF」をどう広めていくかです。特に若い世代に。日本人は“Advocate”という概念に無頓着で、文化的にも「権利の主張」が弱いと言われます。またマルチステークホルダーという考え方もつい最近になって一般的に言われ始めたばかりで、概念が理解されていないのが現状です。インターネットの普及と共に、このマルチステークホルダーという考え方も世界中に広がっています。現状のままでは、日本は取り残されていくばかりです。若い世代を中心に韓国ではYouthIGFの活動も盛んで、アジアから多くの若者が参加しています。今夏のウラジオストクにも参加者が来ていました。現状の課題解決のための活動も重要ですが、次世代を担う若者を育てる活動も今後日本では非常に重要になると思われます。私自身も「台風一過のヒトデ」を海に戻すような活動はしておりますがオールJAPANでもっと積極的な活動を行う必要があるのではないのでしょうか。

さて、会期も終わりさあ帰る、という時に台風がウラジオストクに向かって一直線にやってきている予報が出ておりました。ビザの関係などから出入国にうるさい国です。さすがに台風で飛行機が欠航になった場合は許されると思いましたが、狭い空港で一晩過ごすのもいやですし、翌日には会議等



ウラジオストクのシンボルでもある「金角湾大橋」

も入っていることからWebで台風の進路情報を数時間おきにチェックしていたのですが、日本海の真ん中を通過するあたりで、予報から消えてしまいました。当然と言えば当然ですが、日本の領域に台風がいなくなったために、台風に関する報道がなくなったのです。ウラジオストクにいる我々にとっては、まさにこれからなのですが。しかし、気温も水温も低いことから台風ではなくなり、ほぼ何の影響もなく無事帰国することが出来ました。他国でいる際には天気予想図も意識して探しておかないと、いざというときに困ると実感させられた最後でした。



IGF(インターネット・ガバナンス・フォーラム) について

IGFは2005年11月にチュニジア・チュニスで開催された世界情報社会サミット (World Summit on the Information Society, WSIS) チュニス会合をきっかけとして始まった、インターネットガバナンスの問題に関し、いろいろな立場の関係者 (マルチステークホルダーといえます) の間で政策対話を行う国際連合管轄のフォーラムです。IGFの会合は、世界各国で地域や国単位で2006年以降毎年開催されています。日本にはJAIPAが事務局をしているIGF Japanと、JPNICが事務局をしている日本インターネットガバナンス会議 (IGCJ) があり、それらをまとめたものとしてJapan IGFが存在し、活動を行っています。

IGFでは、インターネット上の諸問題、例：IPアドレスやドメイン名など)、表現の自由、違法情報対応、セキュリティ、クラウドと各国の法制度、などが討議されています。最近では仮想通貨のガバナンスやサイバー規範、IoTセキュリティ、IPv6などの問題も議論されています。IGFでは結論は出さないのですが世界的な議論を通じ、今後世界におけるインターネットのルール化において重要な役割を果たすものと考えられています。そのため、日本からもこのような問題に関心の高い団体や企業、官庁から代表が参加して各国代表と議論を交わしています。

APrIGFは、2010年に香港で始まり、今回が10回目でした。日本では2012年に第3回を東京の青山学院大学で開催され、このときはJAIPAが主体となったIGF Japanがホストしました。



ゲーム・エンタメのネットワーク接続性に関する課題検討WGご紹介

株式会社シーエスファーム 松本 昇と申します。簡単に自己紹介をさせていただきます。

主に、モバイル部会、地域ISP部会に参加させていただいており、2019年から理事を務めさせていただいております。ここで、掲題のWGのご紹介をさせていただきます。

お客様のネットワーク環境によってはP2Pゲームプレイ中に、接続できなかつたり通信が切断してしまう現象が顕著になっています。対戦型ゲームなどのP2Pクライアント間の通信の確立可否はユーザーのNAT環境の透過性の高さに依存します。透過性が低い環境ではP2Pゲームによるプレイが正常に行えない場合があります。

その原因として、CGN等のIPv4アドレスシェア等の増加により、従来から想定されていた課題が顕在化し、国内の据え置き型ゲームの透過性は劣化傾向にあります。その対策技術としてSTUNなどが存在し、大多数のNAT環境では通信の確立が可能ですが一部のNAT環境など通信の確立ができないユーザー環境が存在します。

また、P2Pゲームに限らず通信の確立後に通信がタイムアウト等により不定期に切断されてしまうという事象も確認されております。

ゲームが正常にプレイできない場合、要因によってはユーザー側の対処が困難であり、ゲームのプレイを諦める、ないしISP変更等を余儀なくされる場合も懸念され、ユーザーや家族等、当事者にとって深刻な課題になります。

今後影響の増大が予想されることから、ゲーム提供事業者及びISP、ルーターベンダー等にとって、短期及び中長期的に更なる対策を検討すべく、ゲーム提供事業者を含む業界横断で課題の対策を検討する目的で「ゲーム・エンタメのネットワーク接続性に関する課題検討WG」を立ち上げました。

WG立ち上げにあたり、事前にプレミーティングを複数回開催し、勉強会形式で既に知見を持たれているゲームベンダさま、ルーターベンダさまなどのプレゼンや、仮想のNW環境を構築して一部P2Pゲームの動作検証をするなどを実施し、有志メンバーで十分な議論を重ねながら合意形成を図りWG設立の準備をいたしました。

正式WG立ち上げプロセスでは、理事会の議論を経て2019年7月の運営委員会で承認され、JAIPAの部会横断WGとし

て設立が決定いたしました。

WGの体制は、業務執行理事と主査を兼任いただく、立石JAIPA副会長、主査に私JAIPA理事 松本、副主査としてNTTぶららの丹羽氏、またJAIPA外から副主査としてゲームベンダさま、ルーターベンダさまなどから3名にご担当いただくことになりました。

WGの新たな取り組みとしてチャレンジしているのは、活発な意見交換や議論をSlack上でも展開して、ミーティング以外の場でも活動ができる素地を提供しております。

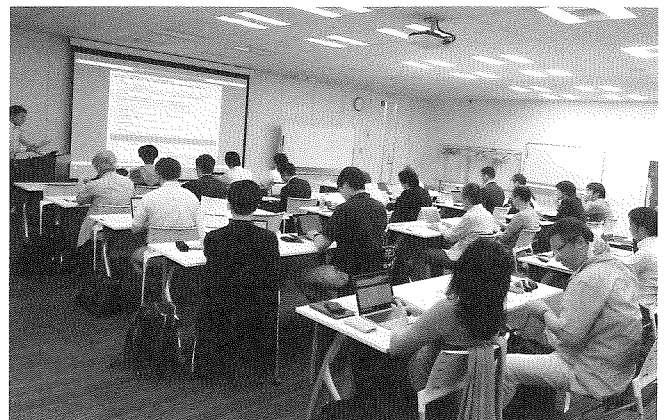
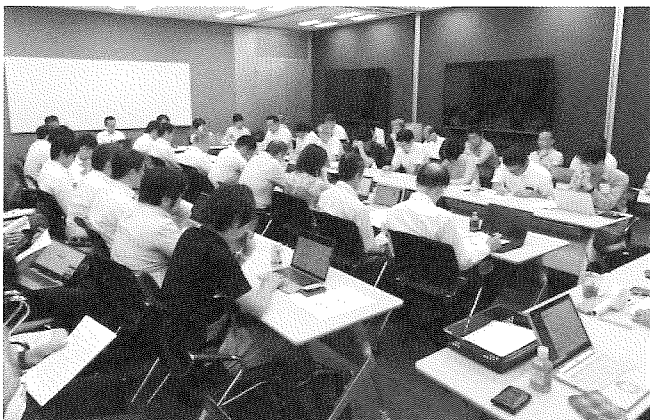
WG発足から既に3回のミーティングが開催され、第1回目は27団体51名の方にご参加いただき、会の趣旨と今後の進め方について説明とディスカッションを行いました。第2回目は65名の方にご参加いただき、ゲームとネットワーク環境を構築した検証試験に見られる課題や具体的なNAT越え課題の見える化についてディスカッションを行いました。

3回目については、去る10月11日に開催され台風19号が接近する中、ルーターベンダさまが認識する課題や、新たなゲーム方式としてクラウドゲームサービスとネットワークの相性について議論がなされました。

これからWGを進める上で、そろそろ具体的な提言をまとめていくフェーズに入ってきます。WGのアウトプットとして今年度中の提言作成と公開を目標としてすすめております。提言は短期的にできることとして、各業界、各社でばらばらな用語を統一する点や、ゲームやルータにおける実装のガイドラインなどを整備すること。例えば「ポート開放」という言葉がその時々で色々な解釈がされることによる混乱がユーザーの不利益になるのではないかという現実に対してWGからアウトプットできればと思います。

また、中長期的な方針としてはコンテンツのIPv6推進が考えられます。この方針に対してどのような提言ができるかについても慎重に進める必要があると考えております。

JAIPA会員の皆様におかれましても、ご興味をお持ちの会社さまがいらっしゃいましたら今からでも是非ご参画いただけますと幸いです。





今年6月に理事会で会田会長のご指名を受け、事務局長に就任しました木村孝と申します。2005年から会長補佐、2009年から行政法律部会長を勤めさせていただいておりますが、改めてよろしくお願い申し上げます。

亀田前事務局長は6月に事務局長をご退任されたのち、7月末付でJAIPA事務局をご退職されました。亀田前事務局長には、JAIPA設立時の事務局長として大変ご尽力され、また2008年9月より再度事務局長として登板され、約11年の長きに渡りJAIPA事務局の代表をつとめてこられました。その間、JAIPAの一般社団法人移行や現事務所への移転などの大事を含め大きな役割を果たされ、そのご貢献に対しては、心よりお礼を申し上げたいと思います。

私については、事務局長というものの、常勤でなく普段はJAIPAの一会員企業であるニフティ株式会社の東京西新宿にあります本社事務所におります。会田会長、立石副会長専務理事のご指導の下、事務局次長の石川さん、事務局員の平さんの助けを受けて、何とかやっております。幸い東京代々木にあるJAIPA事務所までは歩いて電車でも30分程度と近いので、多い時は週に3、4回ほど主に夕方JAIPA事務所に顔を出しております。また、JAIPA会議室で開かれる部会やWGについてもできるだけ参加したいと考えております。

激しい環境変化の中にあるISP業界にあって、情報提供や政策に対しISPの意見が反映できるような議論の場を提供することでJAIPAが会員の皆様のお役に立てるよう運営したいと考えております。また、JAIPAの活動について、一層透明度を高め、活動状況を皆様にご評価いただき、運営の改善に努めていければと思います。まずその第一弾として、9月よりJAIPA Newsというほぼ毎週発行するニュースレター

を通じて、地方で事業を営まれる皆様にも東京で起きている政策の変化、業界の動向についてお知らせすることにしました。また、リアル、バーチャルにとらわれず、さまざまな手法で会員の皆様のご意見を受け止め、議論し、それを政府の政策に反映できるよう役割を果たしたいと考えています。

最後に、JAIPAは来年20周年を迎えるということで、来年1月の賀詞交換会では20周年記念のイベントを行う予定であります。そのためのプログラム企画委員会が発足します。会員の皆様からのご提案、例えばイベント内容にこういうのを盛り込んでどうか、とか20周年記念品として配るものは、こういうものはどうか、というようなものも含め、ございましたら事務局宛にお寄せいただけないでしょうか？また、古くから活動に参加されてきた皆様には、思い出やエピソードなどもいただければ大変助かります。

【INFORMATION】

■特殊詐欺犯罪の撲滅に向けて（協会声明）

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2019/09/post-19.php>

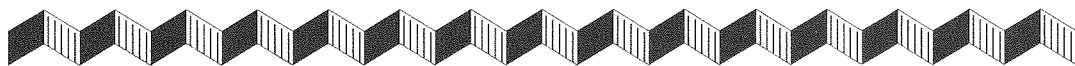
【意見書提出】

■「東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案」に関する意見書を提出（2019/5/23）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_190523.pdf

■「FTTHアクセスサービスにおける不当競争の具体例について（案）」に関する意見書を提出（2019/6/20）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_190620.pdf



株式会社まほろば工房

この度、日本インターネットプロバイダー協会に新規入会いたしました、株式会社まほろば工房です。ご紹介の機会をいただき、ありがとうございます。

当社は、SI/NI事業として、サービスネットワークの運用構築の支援やコンサルティングのほか、BGP運用の支援やVyOSを活用した構築支援に加え、音声ソリューション事業として、IP-PBXである「NetDevancer」シリーズの開発・販売、API/メール等を利用した自動音声サービスである「SymphonyCall」の提供を行っています。

SI/NI事業の一つとして行っている「VyOSサポートサービス」については、オープンソースのソフトウェアルータであるVyOSを中心に、様々なISP・データセンター様にも活用いただいています。

また、自動音声サービス「SymphonyCall」については、アラートの電話通報を自動化するなど、多くの方々にご利用いただいています。

JAIPAでは、会員の皆様と交流を深めながら、日本のネットワーク業界の発展に寄与できれば幸いと思っております。これからどうぞよろしくお願いたします。

■株式会社まほろば工房の概要

<https://www.ate-mahoroba.jp/aboutus.html>

※お問合せは、上記Web「お問合せ」よりお願いいたします。

 MAHO-PBX 高機能・低価格の内線交換機
NetDevancer Series

 Symphony Call

株式会社 KEE'S

日本から話す事が苦手な人を無くしたい！「話し方」で企業を改革
受講者満足度99%！企業研修600社50,000名以上の実績

この度、日本インターネットプロバイダー協会に新たに加入いたしました株式会社KEE'Sでございます。

弊社は、アナウンサー40名がスピーチ・プレゼンなど印象良く分かりやすく伝える話し方をお教えいたしております。

多くのIT業界の皆様方をはじめとする600社5万名以上の方にご導入頂き、その90%近くの方が「話し方が変わった」と好評を頂いて参りました。ご自身の話し方や印象を向上させることから始まり、実際のビジネス等の実践に沿って活用できるような豊富なカリキュラムをご提供しております。

是非、皆様方がお持ちの素晴らしい技術・サービス等を更に効果的に伝えるお力添え出来ればと存じております。JAIPAにおいても、皆様との交流を深めながら、日本クラウド業界、インターネット業界の益々の進展に少しでもお役に立てれば幸いです。これからどうぞ宜しくお願い申し上げます。

■会社概要

社名：株式会社 KEE'S (キーズ)
企業話し方研修・マンツーマンレッスン
無料体験承っております

■お問合せ

TEL：03-6721-9657（法人営業部直通）
Mail：kees@kees-net.com
HP：http://www.kees-net.com

■住所

【恵比寿本社】
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿4-1-22
恵比寿ネオナートアネックス2階
【新丸ビル】
〒100-6510
東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビル13階



行事一覧

6月

- 3日(月) 第109回女性部会
- 5日(水) 第88回クラウド部会
- 11日(火) 第185回行政法律部会
- 12日(水) 低炭素社会実行計画WG
「2019年度フォローアップ調査 実施説明会」
- 17日(月) 2019年度定時総会
(at. ホテルグランドアーク半蔵門)
- 17日(月) 2019年第2回理事会
(at. ホテルグランドアーク半蔵門)
- 18日(火) 第178回地域ISP部会
- 21日(金) 第45回モバイル部会
- 25日(火) 第139回インターネットユーザー部会



7月

- 2日(火) 第186回行政法律部会
- 3日(水) 第89回クラウド部会
- 11日(木)~12日(金)
沖縄ICTフォーラム2019in与那国
- 16日(火) 第179回地域ISP部会
- 17日(水) 第132回運営委員会
- 18日(木) 第110回女性部会
- 26日(金) 第46回モバイル部会
(at. NTTコミュニケーションズ)
- 31日(水) 第140回インターネットユーザー部会

8月

- 1日(木) 第1回ゲーム・エンタメのネットワーク接続性に関する課題検討WG
(at. A10ネットワークス)
- 5日(月) 第187回行政法律部会
- 7日(水) 第90回クラウド部会
- 20日(火) 第133回運営委員会
- 21日(水) 第180回地域ISP部会
- 21日(水)~23日(金)
モバイル部会夏合宿2019
(at. 群馬県中之条町(野反湖))
- 22日(木) 第111回女性部会 (at. ビッグロブ株式会社)
- 27日(火) 第141回インターネットユーザー部会
- 30日(金) 第47回モバイル部会

9月

- 3日(火) 第188回行政法律部会
- 4日(水) 第91回クラウド部会
- 10日(火) 第2回ゲーム・エンタメのネットワーク接続性に関する課題検討WG
(at. コナミデジタルエンタテインメント社)
- 12日(木)~13日(金)
第52回ISP&クラウド事業者の集いin旭川
- 17日(火) 帯域制御ガイドライン運用基準検討協議会
- 18日(水) 第134回運営委員会
- 26日(木) 第112回女性部会 (at. ソニーネットワークコミュニケーションズ)
- 27日(金) 第48回モバイル部会

10月

- 1日(火) 第142回インターネットユーザー部会
- 2日(水) 第92回クラウド部会
- 8日(火) 第189回行政法律部会
- 10日(木) 第113回女性部会
- 11日(金) 第3回ゲーム・エンタメのネットワーク接続性に関する課題検討WG (at. NTTインターネットコミュニケーション・センター)
- 15日(火) 第181回地域ISP部会
- 16日(水) 2019年度第3回理事会
- 24日(木) 帯域制御ガイドライン運用基準検討協議会
- 25日(金) 第49回モバイル部会

役員一覧

会長

会田 容弘 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

副会長

佐々倉 秀一 NTTコミュニケーションズ株式会社

西山 裕之 GMOインターネット株式会社

立石 聡明 有限会社マンダラネット

専務理事

立石 聡明 有限会社マンダラネット

常任理事

荻原 正也 ニフティ株式会社

小畑 至弘 BizMobile株式会社

鎌倉 忍 ディーシーエヌ株式会社

久保 真 ビッグロブ株式会社

晋山 孝善 ジェットインターネット株式会社

竹綱 洋記 ソフトバンク株式会社

田中 邦裕 さくらインターネット株式会社

内藤 幹徳 KDDI株式会社

永田 勝美 株式会社NTTぷらら

横田 洋人 株式会社アットアイ

理事

植田 裕之 株式会社ネットフォレスト

荻堂 盛修 株式会社TOKAIコミュニケーションズ

竹内 勝幸 株式会社シナプス

中野 雄一 株式会社エヌディエス

中山 いその 株式会社フューチャーネットワークス

野口 尚志 EditNet株式会社

福智 道一 BBIX株式会社

本間 誠治 株式会社新潟通信サービス

松岡 伸介 合同会社double A one

松本 昇 株式会社シーエスファーム

村田 篤紀 合同会社DMM.com

監事

秋山 卓司 クロスモバイル株式会社

竹内 常夫 虹ネット株式会社

林 一司 アルテリア・ネットワークス株式会社

(2019年9月30日現在)

名誉会長

渡辺 武経

会員一覧

■正会員 [151団体]

株式会社アイエフネット

株式会社IMS

株式会社アイキューブ・マーケティング

株式会社IC-NET

株式会社IDCフロンティア

株式会社アインシス・ジャパン

AXLBIT株式会社

アクロニス・ジャパン株式会社

株式会社朝日ネット

株式会社アットアイ

株式会社アット東京

アミック株式会社

株式会社有明なっとこむ

アルテリア・ネットワークス株式会社

株式会社イーネット

イーブロードコミュニケーションズ株式会社

イエスネット株式会社

イツ・コミュニケーションズ株式会社

株式会社イブリオ

射水ケーブルネットワーク株式会社

株式会社インターネット尾張

インターネット・フューチャー株式会社

インターネットプロ東海株式会社

株式会社インターリンク

エキサイト株式会社

株式会社STNet

SBクラウド株式会社

株式会社エディオン

EditNet株式会社

株式会社エヌディエス

NTTコミュニケーションズ株式会社

エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社

株式会社NTTドコモ

株式会社NTTPCコミュニケーションズ

NTTビズリンク株式会社

株式会社NTTぷらら

エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社

株式会社エンボリック

オーシャンブロードバンド株式会社

株式会社大塚商会

大槻電気通信株式会社

株式会社オキット

カゴヤ・ジャパン株式会社

関越ネットワークシステム株式会社

株式会社KEE'S

特定非営利活動法人きたうら花ねっと

株式会社クオリティア

株式会社クララオンライン

会員一覧

KROW株式会社	有限会社ナインレイヤーズ	ミテインターネット株式会社
株式会社グローバルネットコア	那賀町ケーブルテレビ	株式会社ミライコミュニケーションネットワーク
株式会社クロストラスト	株式会社長野県協同電算	メディアウェイブシステムズ株式会社
クロスモバイル株式会社	那須インフォネット株式会社	株式会社メディアブリッジ 東京支店
株式会社クロノス	株式会社NAX	ライド株式会社
株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ	株式会社新潟通信サービス	株式会社Line Growth
株式会社ケー・アイ・ピー	株式会社西新宿ドットネット	楽天コミュニケーションズ株式会社
株式会社ケーシーエス	虹ネット株式会社	リコージャパン株式会社
KDDI株式会社	ニフティ株式会社	株式会社両毛インターネットデータセンター
株式会社コアラ	日本・アルカディア・ネットワーク株式会社	Rebyc株式会社
株式会社高知システムズ	日本情報システム株式会社	ワークアップ株式会社
コスモメディア株式会社	日本ネットワークイネイブラー株式会社	
彩ネット株式会社	株式会社日本レジストリサービス	
さくらインターネット株式会社	株式会社ニューメディア徳島	
株式会社さくらケーシーエス	株式会社ネクストジェン	
サンコー事務機株式会社	株式会社ねこじゅらし	
株式会社サンメディア	株式会社ネスク	
株式会社サンライズシステムズ	株式会社ネットアイアールディー	
株式会社シーエスファーム	株式会社ネットフォレスト	
GMOインターネット株式会社	株式会社ハイネット	
GMOクラウド株式会社	株式会社ハイホー	
ジェットインターネット株式会社	BBIX株式会社	
株式会社Geolocation Technology	株式会社光システム設計	
株式会社シナプス	BizMobile株式会社	
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	株式会社日立システムズ	
セイコーソリューションズ株式会社	株式会社ビックベースソリューションズ	
株式会社ゼクス	ビッグロープ株式会社	
株式会社創風システム	株式会社ヒューメリア	
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	株式会社ファミリーネット・ジャパン	
ソピアフォンス株式会社	株式会社フィックスポイント	
ソフトバンク株式会社	株式会社フォーサイトウェブ	
ZOROK株式会社	株式会社fonfun	
有限会社たけかわ企画	富士通クラウドテクノロジーズ株式会社	
合同会社double A one	株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート	
ダンボネット・システムズ株式会社	株式会社フューチャースピリッツ	
中国聯通日本オペレーション株式会社	株式会社フューチャーネットワークス	
株式会社ディー・エヌ・エー	フリービット株式会社	
ディーシーエヌ株式会社	ブロックシステムデザイン株式会社	
株式会社TCP	有限会社プロベル	
合同会社DMM.com	株式会社北斗システムジャパン	
株式会社電算	HOYAサービス株式会社	
103R株式会社	株式会社マイメディア	
電通工業株式会社	松本商工会議所	
株式会社TOKAIコミュニケーションズ	株式会社まほろば工房	
トナミ運輸株式会社	有限会社マンダラネット	
株式会社トリトン	三井物産セキュアディレクション株式会社	

■賛助会員 [5団体]

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
サイバーソリューションズ株式会社
特定非営利活動法人日本テレマーケティング保護協会
日本ネットワークセキュリティ協会
一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

(団体名五十音順) 2019年9月30日現在

People, people

締切を破りまくっている間に43の誕生日を迎えました。40を超えていますが、僕らの世代の定年は70歳とも75歳とも言われているので、まだまだ折り返し地点にさえ到達してないかも知れません。

なのでチャレンジャーではあり続けようと思っています。

最近、特に力を入れているのはハードウェア（電子工作）と中国語です。クラウドに関連することを進めていくと思いますが、得意分野は複数合った方がいいと言われていたのでこの2つの分野を新たに力を入れていこうと思っています。

電子工作は、2017年ごろにArduino（あるどういーの）というマイコンを触ったことからでした。マイコンのプログラムってどうするのか、右も左も分からない所からスタートでしたが、初めてマイコンにプログラムを書き込んでプログラムどおりに動いたときの衝撃はとても大きく世界が変わるインパクトでした。

これまではパソコンやスマホのプログラムは書けば動くというのは分かっていましたが、デバイス上のプログラムは違う世界（組み込み系）の人が作っていて、全く手が届かない物で、自分がアイデアを考えるとハードウェアがからむと市販品が無ければ諦めるしか無いという判断をしていました。それが、自分でプログラムを書いて、直ぐに動いてプロトタイピングができるようになった瞬間、自分が考えるアイデアの幅が爆発的に大きくなったと感じました。

それから少しずつ、いろんなマイコンやセンサーを買いあさったり、人が作った物を参考にして、ひかるメガネや、コーヒーメーカーのコーヒー残量をSlackに通知するデバイスを動かしてみたり、今は中国語の学習を手助けするデバイスを開発をしていたりします。自分で考えたプログラムがマイコンで動くということを少しでも多くの人に知って貰いたいです。

そして中国語です。中国語を最初に習ってから6年以上たっている気がしますが、正直全く伸びていませんでした。それが昨年の秋に Maker Fair 深圳に行ってから大きく変わりました。初めて1人で行動した中国旅行だったというのも大きいのですが、誰も通訳のいないなかで、自分の中国語が通じなく、もどかしい思いをたくさんしました。何とかもっとコ

ミュニケーションを取りたいと思い、戻ってから中国語の勉強を真面目に初めています。おかげでチャットでの読み書きはかなりできるようになってきました。案外、英語圏は中学生並みの英語で何とか伝わるので海外旅行をしてもそんなに困らないんですね。でも、中国ではその頼みの英語が殆ど伝わらないんですね。だから、何とか中国語で伝えようとする。中国語しか選択肢が無いというのが大きな経験となって自分の中に残っているのを感じます。

しかし意外なのは、中国語を使おうと頑張っていくと、英語力も足りないと言うことにおち当たっています。中国語でどうしても伝わらない場合、次に共通言語になり得るのは日本語では無く英語なんです。ということで、英語力は中学生並みの自分が、英語も中国語も勉強しなくてはいけなくなっているのが今です。みなさん、もっと若いうちからやりましょうね。

最後に、クラウド分野も引き続きですが、自分の個性としてハードウェアやIoTに関する分野でも自分のスキルを生かせるようにして行こうと思って、中国語+マイコン+IoT+クラウドってなんかとても相性いいと思いませんか。そして、物として目に見える形でプロダクトができあがってくる快感は、目に見えないインターネットの仕事を長くしていたせいもあると思いますが、とても大きい物があります。

マイコンと中国語に興味がある方、ぜひ僕と一緒に勉強しませんか？

SBクラウド株式会社 寺尾 英作



お知らせ

ニフティ株式会社

2019年6月17日付

取締役会長 萩原正也 就任
代表取締役社長 野島亮司 就任

私のノートパソコンはwindows7である。もうそろそろ買い換えなきゃなあと家電量販店を日参するも、なかなか気に入ったパソコンとは出会えない。いや、私のお財布と相性の良いパソコンとは出会えないというのが本当のところ。

それは先月のこと、消費税が10%になる前月のことである。ある休日、いつものように家電量販店をウロチョロしていたら、あら？これいいんじゃない？これ、ちょっと高いなあ、あ、でも、これなら……と、パソコン売り場をウロチョロしていたせいか、案の定、店員が話しかけてくる。これいいんだけど、でも、あっちも捨てがたくって。で、結局、これにしよう！と数十分かけて決断したのに、色が無い。えーこの色がいいのに。この色じゃなきゃ買わないかなあ、検討物件の仲間入りするも、数分後、歩いた先の別の家電量販店に吸い込まれてしまい、見つけましたよ！その検討物件が！さらに安く、色もあって！しかもキャンペーンなう！……あ、やば、私のお財布の口がパーンと開いてしまった。

カスタマイズ製品だったので、待つこと数日。今日か、今日か、と指折り数えていたある日のこと。なんか胸騒ぎを覚えたのよね。たまたま、パソコンのお届け日を見たら、え？今日届くの？え？あれ？予定よりも2日早く届くの？えー、今日家は留守だよ。誰も受け取れないよ。それに、雨、ちょうどその日は大雨が降った日で、そして、私がかに向かっている時には傘はささなくてもいいくらいな感じの小雨の中、郵便ポストを開けたら不在票が入っているのはもちろんのこと、ん？暗証番号？宅配BOX開けたら、入ってたよ、段ボールが！パソコン入りの段ボールが！え？うそでしょ？！だって宅配BOX厳禁って書いてあるじゃん、え？パソコンだよ？大雨だったでしょ？ビニールに入っているわけでもない、段ボールが鎮座しておりますよ！

マジかよ……

時間も時間だったので、宅配の問い合わせ時間は過ぎてているし、ちょっとモロクのひとつやふたつ言いたいじゃん！だって、パソコンよ？宅配BOX入れる？新品かもうね、中古品になった気分よ。中古品でも雨の中、宅配BOXに入れられたらブンブンだけどさ。とりあえずのメールフォームを見つけてきて、翌日、朝一番に電話がかかってきましてよ。「何か問題でも？宅配BOXあったから入れましたよ」的な答えて。え？問題でしょ？字、読めないの？結局、その日のうちに物品を取りにきまして、なんか、同じものを注文してくれたらしいですよ？納品書（注文書）をみると、確かに、引取りにきたその日付になっていたんで、新品には違いないと思うのだが、…、実は、いまだに箱から出していない。てへ（T）

JAIPA Express Vol.52

2019年10月25日 初版第1刷発行

発行所 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F
TEL:03-5304-7511 FAX:03-3379-5530
URL:<http://www.jaipa.or.jp/> E-mail:info@jaipa.or.jp

印刷 フジサービス株式会社
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8



■本書の内容に関するご質問は、E-mailにてお問合せください。
■本書掲載記事の無断複製・放送は堅くお断りいたします。
■乱丁、落丁本がございましたらお取り替えいたします。

© 2019 Japan Internet Providers Association